

Restless River (Walker Bay)

レストレス・リヴァー（ウォーカー・ベイ）

《詳細・歴史》

1999年、実業家として成功しているクレッグ・ウェッセル氏が、ウォーカー・ベイ地区における最も古いカベルネ・ソーヴィニオンとシャルドネの聖地であるHemel-en-Aarde-Valley／ヘメル・アン・アード・ヴァレーに一代で創めたワイナリーです。大西洋からわずか5kmの場所に位置しており、海からの冷涼な風が吹く、南アフリカでは稀少な銘醸地に自社畑を所有しています。ファーストヴィンテージは2004年で、現在も少しずつ畑を広げています。

彼は複数の企業の代表として南アフリカの経済面において貢献し、雇用やチャリティー活動などを通して社会格差の是正に貢献していますが、その傍ら独学でブドウの栽培方法と醸造技術を習得し、云わば「週末醸造家」としてワイン造りに携わってきましたが、ついに栽培から醸造まですべてを手掛けるワインメーカーへと前進しました。非常に勤勉で、稀に見るコミュニケーション能力を持ち合わせており、同じ産地のブドウ栽培家や超一流のワイン生産者たちと密に連携し、大規模なワインイベントを主催するなど、その天賦の嗅覚と人間力を生かし、常に自身のワイン造りの技術向上とワインのクオリティー、そして地域社会への貢献を突き詰めています。

彼は創業時から毎年シャルドネ100%の白と、カベルネ・ソーヴィニオン100%の赤の2キュヴェのみをリリースしてきましたが、それらのワイン造りに関する拘りは並々ならぬものがあり、白ワインは極上のブルゴーニュのコート・ドールのグラン・クリュと並び称され、赤ワインはボルドー・トップシャトー愛好家をも唸らせる出来栄で、どちらも国内外においてリリースと同時に即完売となるファン垂涎のキュヴェです。2019年のラインナップからは遂にピノ・ノワールが加わりました。

Tim Atkin MW, SA Special Report では第1級に格付けされています。



《栽培・醸造》

“自然に任せて造る”というフィロソフィーに沿って、栽培から瓶詰まで極めて自然に忠実なワイン造りを行っています。

収穫は一般的な時期より1か月ほど遅く手摘みで行い、発酵はキュヴェに応じてステンレスタンクやオーク樽を使い分け、全て野生酵母による自然発酵を促し、熟成にはフレンチオーク樽を使用します。新樽比率は数パーセントから1/3ほどです。

正に“オーセンティックなワイン”！ウェッセル氏の目指すスタイル、そして人柄にぴったりな言葉です。

商品コード	ワイン名	VT	参考上代(税別)
72400521	Ava Marie Chardonnay エヴァ・マリー・シャルドネ	2021	¥8,800



【キュヴェ名】「Ava Marie／エヴァ・マリー」はウェッセル氏の愛娘の名前で、このシャルドネの畑の名前でもあり、アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレーで一番古いシャルドネの畑になります。

【品種】シャルドネ100%

【W.O.】Upper Hemel-en-Aarde-Valley／アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー

【畑面積】2.06ha：単一畑

【畑立地】大西洋からわずか5kmで海からの冷たい風が吹き込み、標高260mの南向きの丘の斜面

【土壌】風化した花崗岩が基盤で、上部は砂利や岩石、深層部は僅かに粘土と石英の結晶が混じる砂利の多い砂質壤土

【植樹】1999年 【栽培】冷涼な気候のヴィンテージには、ブドウの成熟を助けるためツルを長く保つなどの工夫をします。

【収穫】2月10日から3月5日にかけて収穫、手摘み 【全房使用率】100%

【醸酵】500Lのフレンチオーク樽(新樽10%)と、トスカナ産のテラコッタ製アンフォラ壺を2つ用いて、野生酵母による自然発酵を促します。

【熟成】澱と共に12か月間熟成し→さらにステンレスタンクで3か月寝かせ→瓶詰後さらに18か月間瓶熟成

【テイastingノート】目の覚めるようなエレガントさに包まれたヴィンテージです。“オールドワールド”を思わせる


クラシカルなアロマにはライム、白桃、リンゴの花にわずかな火薬香を感じさせ、果実味と酸の絶妙なハーモニーがかすかな樽香に包まれ素晴らしいバランスを楽しませてくれます。塩味を伴ったミネラル感にピュアかつフレッシュで、長く力強いフィニッシュへと誘います。


【評価】Tim Atkin MW, SA Special Report / 96pt, Wine Of The Year(Chardonnay)

【アルコール度数】13.0%

JAN 6001651176797



商品コード	ワイン名	VT	参考上代(税別)
72432121	Le Luc Pinot Noir ル・ルーク・ピノ・ノワール	2021	¥9,000
	<p>【キュヴェ】自社畑「Le Luc／ル・ルーク」のシングル・ヴィンヤード・キュヴェです。</p> <p>【品種】ピノ・ノワール100%</p> <p>【産地】Upper Hemel-en-Aarde-Valley／アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー</p> <p>【畑立地】大西洋から5kmの場所の、標高250mで、北向きの丘の斜面に位置し、海からの冷たい風が吹き込みます。</p> <p>【土壌】上部は水はけのよい砂質や岩石など様々で、深層部は風化した花崗岩と粘土質</p> <p>【植樹】2013年</p> <p>【収穫】2月15日から17日にかけて手摘みにて 【全房使用率】20%ほど</p> <p>【発酵】バスケットプレス後、小さな木製の開放槽にて、野生酵母による自然発酵を促します。</p> <p>【熟成】228Lと500Lのフレンチオーク樽(新樽比率25%)にて澱と共に12カ月間熟成し→澱引き →さらにステンレスタングにて3か月間寝かせ瓶詰→さらに18カ月以上瓶熟成</p> <p>【テイastingノート】この個性豊かな畑特有の濃い目の色付き、桜やスミレにバラの花が香るアロマには、ほのかにクローヴも感じることができます。口に含むと赤、青系フルーツのニュアンスと共に土っぽさやセイヴオーリーなミネラルがシームレスに広がります。酸は澆澆としていて、シルキーなタンニンはまさにフィネスを感じさせてくれ、長くドライで凝縮感のある余韻へと誘います。</p> <p>【評価】Tim Atkin MW, SA Special Report / 95pt, Wine Of The Year(Pinot Noir) ジャンシス・ロビンソンMWのコメント(2023年9月):“Of all the Hemel-en-Aarde Pinot noirs, this is the most Burgundian.” “ヘメル・アン・アードの中で一番ブルゴーニュらしいピノ・ノワール”</p> <p>【アルコール度数】13.0%</p>		
JAN 6001651176780			

72400719	Main Road & Dignity Cabernet Sauvignon メイン・ロード&ディグニティ・カベルネ・ソーヴィニオン	2019	¥11,000
	<p>【キュヴェ】この産地において最古の銘畑である2つの自社畑「メイン・ロード」と「ディグニティ」のブドウが用いられており、それらの恵まれた独特のテロワールによって、新世界スタイルというよりはフランス・ボルドーの五大シャトーを思わせる風格のあるカベルネ・ソーヴィニオンに仕上がっています。</p> <p>【品種】カベルネ・ソーヴィニオン100%</p> <p>【W.O.】Upper Hemel-en-Aarde-Valley／アッパー・ヘメル・アン・アード・ヴァレー</p> <p>【畑面積】3ha:単一畑</p> <p>【畑立地】大西洋から5kmの場所標高300mの北・西・東向きの丘の斜面に位置し、海からの冷たい風が吹き込み、当地区で最も涼やかな畑のひとつです。</p> <p>【土壌】花崗岩が基盤で、上部は砂利、岩石、ミネラル豊かなコーヒークリップなど様々で、深層部は風化した花崗岩と粘土質</p> <p>【植樹】1999年:当地区で最古のブドウ樹</p> <p>【収穫】夏の終盤に4週間かけ、日が昇る前の早朝、手摘みにて行います(最終バッチの収穫は5月7日)</p> <p>【全房使用率】70%ほど【醗酵】開放式の小さなオーク樽を用いて、1日に1~2回、短時間パンチングダウンを行いながら野生酵母による自然醗酵を促し、長期間にわたるマセラシオンの後、古いバスケットプレスと重力を用いてフレンチオーク樽へ移します。</p> <p>【熟成】フレンチオーク樽(新樽比率25%)にて澱と共に22カ月間熟成し→澱引き後さらに数か月寝かせ、清澄を行わず瓶詰 →さらに2年間瓶熟成</p> <p>【テイastingノート】これぞカベルネと思わせる、複雑さとレイヤーを楽しめるまさにクラシカルなスタイルのワインです。パレットにはスパイシーさや土壌そのもの、そしてカシスやグラファイトを感じることができます。口当たりは凝縮感とフレッシュさ、エレガントさが相まみれ、骨格はしっかりしつつも決して重さを感じさせません。タンニンは圧倒的に細部まで研ぎ澄まされ、驚くほど長い余韻に浸ることができます</p> <p>【評価】Tim Atkin MW, SA Special Report / 94pt</p> <p>【アルコール度数】14.0%</p>		
JAN 6009802757024			